

週報①

広島市医師会臨床検査センター受託分 感染性胃腸炎検出状況

検出菌 ウイルス	2023年																		
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月 ~2日	7月 ~9日	7月 ~16日	7月 ~23日
カンピロバクター	69	64	99	99	47	48	99	77	32	48	30	46	63	57	67	17	12	6 (2)	21
病原性大腸菌	62	88	90	30	53	40	44	45	81	47	37	55	103	120	108	30	20	9 (5)	19
腸管出血性大腸菌	0	1	1	10	2	0	2	0	0	1	1	4	1	0	1	0	0	0	0
サルモネラ	5	5	3	16	12	12	14	5	3	7	2	2	7	7	13	7	1	4	7
黄色ブドウ球菌 MSSA	20	32	22	26	19	13	20	18	11	15	10	13	14	21	8	3	0	0 (4)	0
黄色ブドウ球菌 MRSA	19	28	9	17	18	15	16	20	14	13	10	14	15	14	10	4	2	3	1
腸炎ビブリオ	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
その他	0	1	3	4	1	5	4	1	2	1	1	2	0	0	4	1	1	2	3*
ロタウイルス	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
アデノウイルス	0	0	1	5	7	3	2	2	6	0	0	1	2	2	2	0	0	0	0
ノロウイルス	2	0	0	1	0	0	0	1	2	14	11	6	1	1	0	0	0	0	0

* () は前回集計後に新たに検出された件数を含めて表示しています。

* その他は、アエロモナスでした。

週報②

広島県感染症・疾病管理センター(ひろしまCDC) 感染症週報

令和5年第29週(7月17日~7月23日)

2 一類・二類・三類・四類感染症及び全数把握五類感染症発生状況

類別	報告数	疾患名	計	西部	西部東	東部	北部	広島市	呉市	福山市
一類	0	発生なし	0							
二類	4	結核	4			2		2		
三類	4	腸管出血性大腸菌感染症	4	2				1		1
四類	11	エムボックス	1					1		
		日本紅斑熱	3			2			1	
		レジオネラ症	7	1	1	1		4		
五類	21	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	1	1						
		梅毒	20				1	15	1	3

注) 西部…大竹市、廿日市市、府中町、海田町、熊野町、坂町、安芸高田市、安芸太田町、北広島町、江田島市

西部東…竹原市、東広島市、大崎上島町

東部…三原市、尾道市、世羅町、府中市、神石高原町

北部…三次市、庄原市

● 詳しい流行状況は、広島県感染症・疾病管理センターのホームページをご覧ください。 <https://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/hcdc/>

■コメント

1 新型コロナウイルス感染症(COVID-19)

定点当たり10.78人の報告があり、前週と比べて増加しました。夏休みやお盆に帰省等で、高齢の方と会う機会や大人数で集まる機会が増えてきます。感染予防を心がけましょう。

【参考】新型コロナウイルス感染症の感染予防のために(広島市)
<https://www.city.hiroshima.lg.jp/site/korona/264771.html>



2 ヘルパンギーナ

定点当たり3.46人の報告がありました。前週と比べてやや減少しましたが、多い状況が続いています。手洗いの励行、オムツの適切な処理など、感染予防対策を心がけましょう。

3 エムボックス

1件の報告がありました。広島県内で初めての報告となります。

4 レジオネラ症

4件の報告があり、今年の累計は22件(昨年同時期20件)となりました。レジオネラ症は、河川や土壌など自然界に生息するレジオネラ属菌による感染症で、レジオネラ属菌に汚染されたエアロゾル(細かい水のしぶき)などを吸入することで感染します。屋外作業中に、舞い上がった土ぼこりを吸い込んで感染することもあるため、必要に応じてマスクを着用しましょう。

新型コロナウイルス感染症の流行状況



■定点把握感染症報告状況(週報対象)

定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	過去5年間平均(注)	発生記号	定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	過去5年間平均(注)	発生記号	
インフル	インフルエンザ	47	1.31	-	◇	小児科	ヘルパンギーナ	83	3.46	0.79	◇	
	新型コロナ(COVID-19)	388	10.78	-	◇		流行性耳下腺炎	-	-	0.11	-	
小児科	RSウイルス感染症	32	1.33	2.95	◇	眼科	急性出血性結膜炎	-	-	-	-	
	咽頭結膜熱	10	0.42	0.39	◇		流行性角結膜炎	4	0.50	0.60	◇	
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	41	1.71	1.13	◇	基幹	細菌性髄膜炎	-	-	-	-	
	感染性胃腸炎	98	4.08	3.17	◇		無菌性髄膜炎	1	0.14	0.06	◇	
	水痘	6	0.25	0.17	◇		マイコプラズマ肺炎	-	-	0.06	-	
	手足口病	26	1.08	3.21	◇		クラミジア肺炎(オウム病を除く)	-	-	-	-	
	伝染性紅斑	-	-	0.05	-		感染性胃腸炎(ロタウイルス)	-	-	-	-	
		突発性発しん	6	0.25	0.24	◇						

急増減 ↑ (赤) ↓ (青) 前週と比較しておおむね1:2以上の増減

増減 ↗ (黄) ↘ (青) 前週と比較しておおむね1:1.5~2の増減

微増減 ↗ (白) ↘ (白) 前週と比較しておおむね1:1.1~1.5の増減

横ばい ⇨ (白) ほとんど増減なし

報告数が少数の場合などは、発生記号を記載していません。

インフルエンザ/COVID-19定点数(小児科定点を含む)	36
小児科定点数	24
眼科定点数	8
基幹定点数	7

(注) 過去5年間の同時期平均(定点当たり)

■全数把握感染症報告状況

類型	疾患名	報告数	累計	備考
2	結核	2	69	10歳未満、90歳代
3	腸管出血性大腸菌感染症	1	11	30歳代・O157
4	エムボックス	1	1	30歳代
4	レジオネラ症	4	22	50歳代・市外・1人、60歳代・2人、70歳代・1人
5	梅毒	15	167	20歳代・4人、30歳代・6人、40歳代・4人、50歳代・1人